

船舶事故等調査報告書

平成26年11月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第218号
事故等種類	衝突
発生日時	平成25年8月28日（水） 13時25分ごろ
発生場所	香川県高松市大槌島南西方沖 高松市所在の小槌島灯台から真方位352°2,150m付近 （概位 北緯34°24.9′ 東経133°55.2′）
事故等調査の経過	平成25年12月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート ラ・コスタ7、7.3トン 270-43341岡山、有限会社ピアA B プレジャーボート 青潮丸、5トン未満 271-21229岡山、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型船舶操縦士 B 船長B、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	A 船首部船底に擦過傷 B 右舷中央部外板に亀裂
事故等の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、大槌島南西方沖を北西進中、平成25年8月28日13時25分ごろ船首部とB船の右舷中央部とが衝突した。 B船は、船長Bが1人で乗り組み、13時15分ごろ、大槌島南西方沖で機関を中立運転とし、船首を北東方に向けて漂泊した。 船長Bは、右舷側中央部に腰を掛け、釣りで使用する仕掛けを準備していたところ、右舷正横方約10mの所に白波を立てて接近するA船を初認し、衝突の危険を感じて海に飛び込んだ直後、B船は、A船と衝突した。 船長Bは、船長Aに救助されてB船に戻り、A船の伴走により、B船を玉野市の修理場所まで回航した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期
その他の事項	B船は、高さ約4m、上辺約1m、下辺約2mで青色のспанカーを広げていた。 B船の周囲には、他船はいなかった。 船長Bは、ウエストベルト型の救命胴衣を着用していた。

<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>A 不明、B あり A 不明、B なし A 不明、B なし</p> <p>A 船は、大槌島南西方沖を北西進中、B 船と衝突したものと考えられるが、船長Aから情報が得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>B 船は、大槌島南西方沖で漂泊中、釣りの準備に意識を向けていたことから、衝突直前までA 船に気付かず、A 船と衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、大槌島南西方沖において、A 船が北西進中、B 船が漂泊中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常時適切な見張りを行うこと。